

学校再編準備委員会(第1回跡施設利用検討部会) 結果概要

■ 開催日時 令和6年7月3日(水) 午前10時30から正午まで

■ 開催場所 天名公民館 多目的ホール

■ 出席者 【委員】4人

【教育委員会事務局】5人

教育政策課副参事兼政策推進グループリーダー

政策推進グループ (3人)

学校施設グループ (1人)

■ 傍聴者 2人

■ 事項

1 開会(教育政策課政策推進グループリーダー挨拶、出席者紹介)

2 説明事項

(1)

- ・ 前提整理
- ・ 全国における学校跡地の状況 等

(2)

- ・ 鈴鹿市における基本的な考え方
- ・ 学校施設の状況
- ・ 利活用の可能性調査に向けて 等

→資料に基づき説明。その後、質疑応答及び意見交換。

《質疑応答、意見交換》

(参加者)

- ・ 情報交換ということで一緒に話をしてもいい時はあると思うが、跡地利用は地域によって、事情や条件が違うので、基本的には合川と天名、別々で話をした方がいいと思う。
- ・ 合川小学校の跡地を不特定多数の人が利用するとなると、進入路の坂道を適正な勾配に改良しないと、跡地利用が難しいと思うため、大きな課題になると考える。

(教育委員会事務局)

- ・ 合川小学校と天名小学校で当然内容が違うと思うが、情報共有という観点からも、サウンディング調査を実施するまでは、一緒に進めていきたいと考えている。
- ・ 合川小学校の進入路の勾配については、行政として手を加えることは現在考えていない。
- ・ サウンディング調査での民間事業者の意見等も参考にしながら、検討していきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 総論的な話は、合川地区と天名地区で一緒にしてもらって問題ないが、各校の話になってきたら、別々に話をしてもらいたい。

(参加者)

- ・ 旧校舎を行政で利活用するという考え方はほとんどないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 現状考えていない。

(参加者)

- ・ 行政が取壊すということもあるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ サウンディング調査の結果、民間事業者のニーズがなかったということであれば、今後どうしていくかを検討の上、行政が取壊す可能性はあると考えている。

(参加者)

- ・ 民間事業者のニーズがなかったら、その時点で再度考えるということか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうである。

(参加者)

- ・ かなりの解体費用が必要になってくる。

(教育委員会事務局)

- ・ 民間事業者の提案募集の期間や解体費用等を踏まえながら、取壊しの時期を検討していくことになると考えている。

(参加者)

- ・ 仮に計画通り進まなくても、放置されないようにお願いしたい。

(参加者)

- ・ サウンディング調査を行い、その結果を踏まえプロポーザルをしていくことと併せて、合川地区や天名地区をこれからどのように維持していくのかを鈴鹿市としての考えを持っていてもいいと思う。
- ・ 例えば、合川地区であれば、公民館や地区市民センターが恐らく築50年ぐらい経過してくると思う。全国的にも災害が起きている中で、今の場所のままでいいのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 民間活用のニーズ把握とともに、市役所内部では全庁的に照会するなど他部局でのニーズ把握は進めていく。

(参加者)

- ・ 合川の地区市民センターや公民館の老朽化が進んでおり、仮に、現在の合川小学校へ機能に移すと徳居地区からも近くなる。

(参加者)

- ・ 移転すれば、進入路の問題はあるが、利便性はよくなると思う。
- ・ 1つの案であるが、現存する公民館を地元の集会所として使えたらいいと思う。

(参加者)

- ・ プロポーザルを行う際に、条件を付けると思うが、地元での活用も可能な条件を付けてもらえるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ サウンディング調査を行う際には、条件を付けることが可能であると考えている。
- ・ 他市町でも、防災施設としての役割などを条件に付けている事例はある。

(参加者)

- ・ 売却だけではなく、貸借も考えられると思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 合川小学校は市街化調整区域内であり、建築物を建築する際には、都市計画法上の許可が必要な場合がある。土砂災害特別警戒区域にも一部指定されている。

(参加者)

- ・ 公民館や地区市民センターの移転を考えてくれたらと思う。
- ・ そのような利用を考えると、坂道の問題を解決しないといけないと思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 鈴鹿市として何か新しい機能で活用することは現状考えていない。

(参加者)

- ・ 今の段階で貸借か売買かの方向性は決まっているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 決まっていない。
- ・ そういった検討を今後行っていくためにも、まずは、サウンディング調査で民間事業者の反応を確認していく。

(参加者)

- ・ 次回の会議の議題は何か。
- ・ サウンディング調査に向けた案を提示してもらえるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ サウンディング調査は、令和7年度の実施を見込んでいる。
- ・ 開放事業や防災面など、屋内運動場を対象にサウンディングを実施していくための条件を検討する上で、各担当部署の考え方を整理していく必要があると考えている。

(参加者)

- ・ 令和8年4月以降の開放事業は、現在、利用している地元住民にとっては大きな問題である。

(教育委員会事務局)

- ・ 開放事業はスポーツ課の所管になるが、閉校後の取扱いについては、利用団体などの関係者へのヒアリングも行いながら、今後、具体的に検討を進めていくと聞いている。

(参加者)

- ・ 使用できるのか、運用はどうなるのか方向性を決めて、しっかりと周知していく必要があるのではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 令和8年3月末をもって学校施設としての役割は終えるが、令和8年4月以降の開放事業に関して検討していく必要があり、関係課と調整を行いながら、市として説明させていただきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 次回は、開放事業に関する考え方や今後の方向性などを教えていただきたい。

(教育委員会事務局)

- ・ 次回の会議は、学校施設開放事業等に関する内容と、本日説明させていただいた

内容の進捗報告を考えている。

3 今後のスケジュールについて

- ・ 第2回跡施設利用検討部会の開催日は、本日の意見を受けて内部検討が必要であることを踏まえ、後日、日程調整を行う。

4 閉会

以上